

▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽

## 広島県緑化センターメールマガジン VOL.298 H27.6.12

△▽△▽▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲

6月7日(日)の「山の日県民の集い」では天候に恵まれ、山の手入れも無事行うことができました。ありがとうございました。園内では夏の花が咲き始めました。地面をよく観察すると、小さな草花もたくさん咲いています。

### ★ 開 花 情 報

#### チュウゴクボダイジュ（中国菩提樹）シナノキ科シナノキ属（写真1）

昭和45年に安芸高田市八千代町の土師ダム湖岸で発見された品種で、この株は県の天然記念物に指定されています。緑化センターに植栽されているものは、平成18年に国土交通省及び安芸高田市のご好意により移植されたもので、6~7月頃に淡黄色で芳香のある花を咲かせます。花序の柄に葉状でへら形の苞があるのがシナノキ属の特徴です。樹形は落葉高木で、日当たりが良く適度に湿り気のある場所に生えます。葉はゆがんだ卵形で、長さ7~12cm、葉柄は2.5~6.5cmあります。マンシュウボダイジュと同種という考えもあります。樹冠

場所：多目的広場

#### イワガラミ（岩絡み）ユキノシタ科イワガラミ属（写真2左）

山地に生える落葉つる性木本で、気根を出して岩や木に絡みながら伸びていくため、イワガラミと呼ばれています。よく似たツルアジサイは、装飾花の萼片の数が3,4枚ずつつきますが、イワガラミは1枚ずつつきます。またイワガラミの葉の鋸歯は大きく片側に20個以内なのに対し、ツルアジサイは鋸歯が細かく、片側に30個以上あります。

場所：ゲートから第2駐車場までの車道沿い

#### オカトラノオ（岡虎の尾）サクラソウ科オカトラノオ属（写真2右）

日当たりの良い草原や林縁などに普通に見られる草本で、花穂の先端が虎の尾のように垂れ下がる姿からトラノオの名がついています。オカトラノオ以外にヌマトラノオ、ノジトラノオがありますが、ノジトラノオはやや湿った場所に、ヌマトラノオは湿地に生えます。また3種の中ではオカトラノオの葉は幅が広く大形になります。花は6~7月、花穂の下側から咲き上がります。トラノオの仲間は秋に葉が赤く色づきます。

場所：浄水場フェンス内

#### マルバチシャノキ（丸葉萵苣木）ムラサキ科チシャノキ属（写真3左）

本州、四国、九州、沖縄の暖地の海辺の岩場などに自生し、庭木や公園樹に稀に利用されます。若葉の味がチシャ（レタス）に似ており、葉が丸いのでマルバチシャノキと呼ばれています。花は両性花で5,6月に枝先に花序をだし、白色の小さな花を多数つけます。雄しべの葯は黄色を帯びていますが、成熟すると黒っぽくなります。果実は7~11月に黄色く熟し、生食できますが、味は薄く、ぬめりがあります。

場所：苗畑

### タイサンボク（泰山木・大山木）モクレン科モクレン属（写真3右）

別名ハクレンボクとも呼ばれる北アメリカ原産の常緑高木で、高さ約20mになります。公園樹や街路樹、庭木としてよく植えられています。6月頃、枝先に芳香のある白い花を咲かせます。花は直径15～25cmあり、ホオノキより大きくなります。葉は厚い革質で表面には光沢があり、裏面は褐色の毛が密生します。

場所：見本園、多目的広場、園路沿い他

緑化センターホームページ（<http://ryokka-c.jp/>）に開花状況を掲載していますので、ぜひご覧ください。また園内にも、各月の開花マップがありますので、来園の際にはお立ち寄りください。

開花等の詳細は緑化センター管理事務所（082-899-2811）へお問い合わせください。

### ★園内開花情報まとめ

咲き始め	チュウゴクボダイジュ、クマノミズキ、タチバナモドキ、ヒメシャラ、キンシバイ、キササゲ、ネズミモチ他
見頃	イワガラミ、マルバチシャノキ、タイサンボク、テイカカズラ、リュウキュウマメガキ、ヤブムラサキ、クロガネモチ、アジサイ、カシワバアジサイ、サツキ、ヤブニツケイ、クスノキ、タブノキ、コウホネ、マテバシイ、クリ、オカトラノオ、クララ、ドクダミ他



写真1 チュウゴクボダイシュ（多目的広場） H27.6.12



写真2左 イワカラミ (第2P~ゲート園路沿い) H27.6.11

写真2右 オカトラノオ(浄水場) H27.6.11



写真3左 マル(チシャノキ(苗畑) H27.6.11

写真3右 タイサンボク (多目的広場) H27.6.11